

自動車リサイクル工場見学

工場見学受入れの手引き



2021年版
制作：
RUMアライアンス

目次

1部:工場見学受入れの意義(受入れお勧め編)

- ・工場見学受入れの背景と意義
- ・工場見学受入れサイトを勧める経緯

2部:安全第一の配慮(マニュアル編)

- ・見学の順路と内容、見学開始の直前に（感染症回避）
- ・自動車リサイクル工場の危険個所とその特徴
- ・担当者の教育

3部:見学を受け入れた企業からの反響(嬉しいお話)

- ・受入れて良かったこと、(反響の声、見学先に選ばれた理由)
- ・これからの展望、見学者の傾向、

1部：工場見学受入れの背景と意義

○リサイクル工場見学は体感を通して知ること、学ぶこと。

- ・自動車リサイクル業の存在は未だに知られておらず、一般の方は自分の愛車の使用後には無関心。
- ・自動車リサイクルの周知は、我々の仕事と事業の役割と存在の意義を知らせる活動になる。
- ・地域一番のブランドづくりの具体的な活動になる。
- ・見学後の感想は、「知らなかった、感動した、未来に役立つ仕事、など」
- ・社員の採用試験を受けに来た高校生から
「小学生の頃、見学に来ました。」といわれた。(実施して良かった一瞬！)

RUMアライアンス会員企業の工場見学受入れ

- ・最近2年間の訪問者は下段の表のとおり。
- ・10年前から受入れをスタートした会員は延べ20,804名を受入れている。
- ・同社は現在年間約40組でその70%は小学生（特に5年生）

（別表）最近の工場見学の来訪者数（RUM 会員企業）

2019 年（9 社計）	115 団体、3,446 人（内・小中学生 34 団体、2,746 人）
2018 年（6 社計）	70 団体、3,703 人（内・小中学生 37 団体、3,055 人）

工場見学受入れを勧める経緯

背景：

- ・現在小学高学年では日本の自動車産業を学んでいる。
- ・自動車のリサイクルについても学ぶ。(教科書により現場写真入り)
- ・工場見学を学習のカリキュラムに加える教育関係者が増加している。
- ・見学希望者と受入れ企業のマッチングサイトを設け、情報の交換によりスムーズな工場見学が実現できる。
- ・自動車リサイクル促進センターでは、2017年から小学生を対象に「クルマのリサイクル」作品コンクールとして標語とポスターを募集し、5回目の2021年度には7,995件の応募があった。
- ・先進受入れ企業の経験を基に見学受入れの手引きをまとめた。

2部：安全第一の配慮

○感染症予防対策

- ・コロナ禍の推移によるが、一般的な配慮を続ける。
- ・コロナ禍下ではバーチャル見学も。

○自動車リサイクル工場の危険個所とその特徴を踏まえる。

- ・見学の順路と内容、見学開始の直前までに見て確認する。
- ・時には危険な場面があるエアバッグ、ニブラの箇所は事前に対策する。

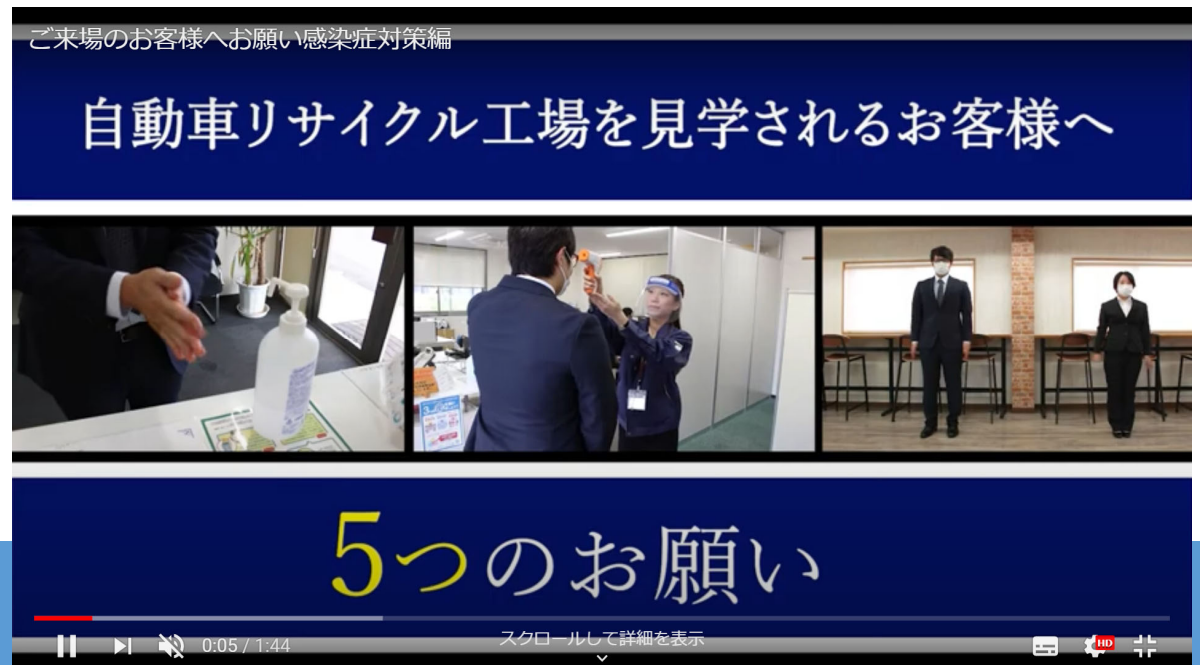
○担当者の教育

- ・定期的に社内の見学受入コースと受入れ体制を見直す。

見学開始の直前までに（感染症回避）

○コロナ禍を回避するための対応

- ・検温、手洗い、消毒、マスク、換気そしてソーシャルディスタンス。
- ・見学者側、受入側で事前に確認し、連連絡先を決めておく。
- ・感染回避の動画視聴



見学の順路と内容（各社で順序が違っててもOK）

1グループ30名～40名で標準約1時間程度が目安。

- ①検査と使える部品の回収(タイヤ、ドアなど部品の回収)
- ②フロンガスの回収
- ③エアバッグの取り外し(作動処理＝安全な車種を準備しドアを開ける)
- ④液類(ガソリン、オイルなど)の回収
- ⑤部品取り外し、品質チェック、梱包)
- ⑥ニブラ解体 プレス作業 プレス置き場
- ⑦記念写真撮影
- ⑧質問タイム(出来るだけこの時間を設る)
- ⑨お見送り



コロナ禍の下ではバーチャル見学も

コロナ禍に対応して規制のある時にはバーチャル見学(オンライン見学)をお勧めします。

- ・バーチャル見学については、「自動車リサイクル工場見学紹介」サイト (<https://www.recycletour.com/>) 内のバーチャル見学のページをご覧ください。
- ・360° カメラの撮影による動画で実際の工場見学工程をたどりながら自動車リサイクルを学ぶことができます。
- ・Withコロナの時代の新たな見学方式として提案できます。

設備・準備について

視点：あらかじめ受け入れるグループの規模に合わせて準備する。

①設備等

- ・駐車場、会議室、見学の道線、
- ・説明時にスピーカーが必要な場合も（ハンドマイクの拡声器では限界がある）

②小物

- ・ヘルメット、カメラ、など
- ・看板（ウエルカムボード）、1団体ずつ。
- ・雨対策。傘、テント、（急に降ってきたときの準備が必要）

③その他

- ・アフターフォローの企画、（記念写真、感想文の受付など）
- ・保険の検討、



配布物について

①見学日前と当日

- ・工場内地図（必要に応じて作成）
- ・会社パンフレット
- ・小冊子

＊それぞれ1人ずつに渡す。

②見学後に準備

- ・記念写真
- ・見学時のスポット写真など

当日見学受入れ対応

- ・案内担当と撮影担当 2人1組が望ましい。
- ・小中学生の場合見学箇所ごとにスポット写真を撮り、お渡しすると喜ばれる。
- ・集合写真は写真屋さんにデータを送り、当日か翌日に取りに行き、早ければ見学の翌日には写真を発送する。
(一人ひとりに写真を渡し、家庭で自動車リサイクルが話題になるようにする。)
- ・新規の顧客開拓になることも。

現場の準備（見えない苦労）

- ・解体しやすいようにエンジン廻り足回りのボルトを外しておく。
- ・重機解体時は飛散物よけの簡易フェンスの設置
- ・ウェルカムボード
- ・雨天時はテント、足場、傘など



担当者教育

- ・担当は職責上位から下位へ移行していく。
- ・まずはビデオカメラでの撮影を覚えから。マニュアルと過去の写真をもとに事前に現場にて立ち位置の確認、カメラの動きを確認する。
- ・案内担当も案内のセリフのマニュアルと動画をもとに練習する。

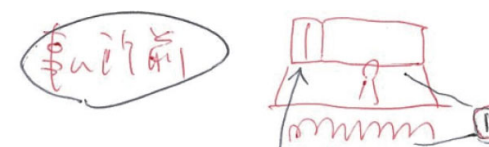
会社見学進行内容				平成31年4月23日 改定	
時間	内容	マイク	撮影内容		
9:00	20'		バス乗降の順序に説明、下車。	バス乗降の順序に説明、下車。	バスの乗降する。
9:00	20'	1	係長	係長はバスに乗車し、乗客の乗降の順序に説明、下車。	係長の乗降する。
9:04	20'		会社案内の説明、事務所の説明	会社案内の説明、事務所の説明	会社案内の説明、事務所の説明
9:06	10'		事務所の説明	事務所の説明	事務所の説明
9:07	40'	2	バス乗降、エスパス	バス乗降、エスパス	バス乗降、エスパス
9:11	50'	3	案内係の乗降	案内係の乗降	案内係の乗降

見学の撮影手順 2

※撮影時の注意点※

- ①話す人、子ども、物（機械や建物、重機など）が映る立ち位置
- ②子どもの目線で撮る。（説明を聞いている子どもがどこを見るかを考える）

1. はじめはサイドから撮影する。説明の途中に後ろに回りながら撮る



3部：見学を受け入れた企業からの反響

○見学を受け入れてよかったこと

○反響の声

- ・見学先に選んだ理由

○課題とこれからの展望

- ・業界の皆様の協力をお願いします。。

見学を受入れて良かったこと

- 学校教育への協力、社会貢献ができている。
- 見学先として頼りにされている。無くてはならない会社に近づく。
- お礼の手紙をたくさんいただける。
- 楽しく学んで自動車リサイクルを知ってもらえる。
- 人前で話す練習、他部署や会社のことを更に知ることができる。
- 工場内が常にきれいになる。(知らぬ内に5S運動)
- 車の引取り先など外で見学参加者に声をかけられる。身近な存在。
- 写真(DVD)を通じて家族へ自動車リサイクルの啓蒙ができる。
- 社員が仕事にプライドを持つようになった。

反響の声

- リサイクルの大切さを学べて楽しかった。
- 車に興味をもった。もっと知りたいと思った。
- 将来働きます！
- 工場とリサイクルのことが一緒に学べてよかった。
- 授業で学んだことと関連性があるので良かった。
- (廃車や部品のお客様)「息子・娘が見学にきました。」
- 子供が写真(DVD)とパンフレットを大事に持っています。

見学先を選んだ理由(引率者の言葉)

- 行ったことのある方が大変良いと言っていたので。
- 授業で学ぶところと関連しているので良い。
- 動画の再視聴(DVD)で復習できるので良かった。
- 異動の度に後任に見学を薦めています。
- 何度も来ています。何度来ても楽しい。



問題点・課題

- 見学が増えると業務が止まり、支障が出る場合がある。
- 学生で中高生は見学態度が良くないので事前に先生にお願いする。
- 危険な場面がある。エアバッグ、ニブラの箇所。事前に対策する。
- 対応の人手が必要になる。
- 見学していただく際に使う(分解する)車の準備などが大変。
- 次の年度の予約は、次年度に先生同士の引き継ぎがうまく行っていない場合があるので、年度が変わったら確認が必要。
- 対応とコストのバランスが課題になる。

これからの展望

- ・年間の受け入れ人数は、年々増やすように心がける。
- ・プラスチック、ガラスの破砕もコースに入れていきたい。
- ・廃車や採用でどのような良い影響があるか楽しみを継続したい。
- ・一般買取台数が向上するように、見学の影響で10年先、20年先の顧客になっていただけるか？



見学者の傾向

先進企業からの伝言

- ・県内の小中学校の先生の研修の一環で見学に来られ、それから増えた。
- ・5月、10月、11月が特に多い。
- ・遠足の訪問先の1つとしての利用も多い。
- ・放課後デイサービスの方の見学も多い。（見学時の撮影はしない。）
- ・地区の子供会、中学、高校、婦人会、老人会、養護学校の方も来られる。
- ・繁忙期には見学者の受入れを制限している。

皆様のご協力をお願いいたします。

自動車リサイクルの現場には、
自動車リサイクル業界の存在を知っていただくと共に、
仕事の意義などを知っていただく材料がいっぱいあります。

しかし、業界で働く私たち自身が一番慣れっこになり、発見できないの
かもしれません。

初心を重んじて、協力して、サーキュラーエコノミー(CE)の環のわが国
静脈産業を国内外に周知しましょう。